

日本労働年鑑 第65集 1995年版
The Labour Year Book of Japan 1995

特集 ILOと日本

はじめに

■ 本特集の課題

ILO(国際労働機関)は、第一次世界大戦が終了した翌年の一九一九年、パリで開かれた講和会議において、国際連盟の姉妹機関として誕生し、一九九四年にその創立七五周年を迎えた国際政府間機関である。第二次大戦後、国際連合の誕生とともに、その専門機関の一つとなり、一九六九年の創立五〇周年の年にはノーベル平和賞を受賞、今日まで国連家族の一員として、労働社会問題を担当している。その誕生から今日まで、日本との関わりに焦点を当てつつ、ILOの活動の概略を振り返ってみようというのが、本特集の課題である。

日本労働年鑑 第65集

発行 1995年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2006年10月28日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑第65集【目次】 次のページ→ ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)